



～ 自他共栄～ NO.25

2025年2月27日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

2025JR総連春闘 第2回交渉～組合要求の根拠～

中央本部は2025年2月27日に「25春闘第2回交渉」を行ないました。

組合要求の根拠

- ・2025年の国内1月の消費者物価指数生鮮食品を含む前年同月比4.0%上昇。24春闘において平均1800円(0.6%)のベースアップと昇給額表に基づく昇給合わせて平均2.2%の賃上げに留まっており、実質賃金は低下続けている。生活にゆとりがなければ、仕事に対するモチベーションは上がらない！
- ・昨年の脱線事故でも組合員の努力や苦労、高い技術力を発揮したからこそ、第3四半期では単体で△1億円へ押し戻した。この苦労にしっかりと報いるべきである。
- ・離職率は、今年度は2.5%の見通しということで会社も重く受け止めていると認識している。離職防止対策を様々していきたいというが、職場の声に耳を傾け、職場の声に沿った対策をするべき！
- ・組合員の将来展望を見出すためにも、賃上げは必須！会社も「生活給はベア」と言っており、青年部員の期待は大きい！
- ・若い組合員は昨年の『額率併用』となったことで不満が多く残った。「定額回答」を強く求めている！次回第3回交渉の会社の考え方では額で示されるためにも、社内議論を！

会社の回答

- ・計画では、単体の経常利益は△14億だが雪害の影響もあり△2億と悪化しており、厳しい状態である。
- ・プランナー職群の離職が多く、離職防止の対策をしなければならぬ。退職の理由として給与もあるが、人間関係が多く上がっている。対策としてメンター制度の導入やフォロー研修などを入れていきたい。
- ・貴組合のいう事は痛いほど理解はする。経営状況など色々と判断していかなくてはならない。

会社は、「社内で議論し、次回会社として考えを示したい」と回答しました。さらに、連結で黒字がギリギリだから厳しいという会社姿勢を示しました。

今日から闘争ゾーンに入ります。本部青年部は青年部の声をしっかり届け、本部交渉団と共に最後まで闘います！

完全「額回答」を勝ち取るべく、青年部組織の団結を持って最後まで闘い抜こう！